

群馬県前橋市

跨線橋の効率的な維持管理体制の検討

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI 包括的民間委託 / その他（ ）

跨線橋の維持管理（定期点検、補修設計、補修工事）は、鉄道事業者との協定により実施しているが、協定内容の調整や事務手続きに時間を要すること、跨線橋ならではの条件や制約があることから、民間のノウハウを活用し、効率的な維持管理体制を検討したい。

①解決したい課題

【解決したい課題】

- ・跨線橋の定期点検、補修工事は、鉄道事業者と協定を締結し、鉄道事業者により実施しており、協議や調整に時間を要している。
- ・実施内容が不透明なケースがあり、専門的な視点から適正価格の精査を行いたい。
- ・補修設計では、跨線橋ならではのノウハウ（工法選定など）が必要。
- ・補修工事では、大規模になることや作業時間の制限から高額になることから、予算の確保が難しい。
- ・跨線橋の管理橋梁数が少なく、スケールメリットを得にくい。
- ・跨線橋は、落橋した場合の社会的影響が大きいため、事故リスクの軽減を図りたい。
- ・今後老朽化する跨線橋が増加することが想定され、限られた職員で対応することが困難となる恐れがある（他自治体も同様と思われる）ため、包括的な維持管理手法を検討し、職員の負担を軽減したい。

【前橋市の概要】

人口：329,120人（R7.1.31現在） 面積：311.59km²

立地：群馬県中央部

【対象としたい公共施設等の規模】

管理橋梁1285橋のうち跨線橋（5橋）

【現在の取組状況】

5年に1度の定期点検、1橋の補修工事を実施中。



②課題解決の方向性等

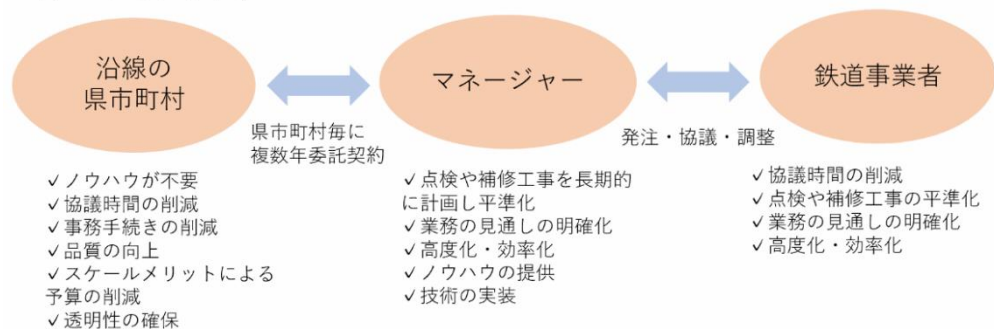
【課題解決に向けて制約や条件】

- ・事業コストは、現状程度のコストを維持もしくは縮減したい。
- ・道路メンテナンス事業補助制度を活用できる仕組み。
- ・事業開始時期は未定であるが、5年程度の複数年の事業としたい。

【解決の方向性・民間事業者のシーズ提案に期待する事項】

- ・鉄道路線ごとに跨線橋を群化し、一括に維持管理する体制の構築を検討したい。
- ・鉄道事業者、沿線の自治体が広域連携することで、効率的な維持管理を実現。
- ・ノウハウのあるマネージャーがマネジメントサイクルを包括的管理するイメージ。
- ・民間が保有する新技術の導入により、維持管理に要するコストの縮減。
- ・補修工事も含めた予算の平準化を期待したい。

イメージとメリット



③課題解決のイメージ・効果

- ・効率的なメンテナンスサイクルの確立により費用の縮減。
- ・自治体単位ではなく、路線単位で修繕計画を立てられることから、老朽化に対する事故リスクの軽減。
- ・技術系職員が不足する自治体でも質の高い維持管理が可能。

その他

特になし